



生後2か月から接種するワクチン

No.06

生まれたばかりの赤ちゃんのワクチンについて解説します

赤ちゃんは、なぜ生後2か月からワクチン接種が必要なのですか？

生後2か月、赤ちゃんのお世話にも少し慣れましたか？このころの赤ちゃんは周りからの声かけにも笑ってくれるようになり、日々かわいさを実感しておられることでしょう。しかし、生後2か月という時期は、赤ちゃんにとって少々大変な経験である「予防接種」を始める時期であることを忘れてはいけません。

赤ちゃんは生後5～6か月までは、生まれた時にお母さんからもらった免疫などによって、多くの細菌やウイルスなどの感染から守られています。その免疫が落ち始めるころから、むしろ感染症にかかりやすくなります。一度感染症にかかると重くなることもあり、入院が必要になったり、時には命にかかわることも出てきます。

このような感染症から、大切な赤ちゃんを守るのが「予防接種」です。生後5～6か月までに予防接種の十分な効果を発揮させるためには、生後2か月になったら、すぐに予防接種を開始することがとても重要です。つまり生後2か月はワクチンデビューの最適な時期ということになります。日本小児科学会が、定期接

種・任意接種を含めたいくつものワクチンの接種を生後2か月から開始することを勧めているのはこのためです。

生後2か月に接種をスタートするワクチンは？

まず生後2か月になったら、なるべく早めに接種したほうがよい幾つかのワクチンを表に示します。

ここでぜひ理解しておいてもらいたいの、必要なワクチンを効率的に、かつ安全に接種する方法としての「同時接種」の必要性です。同時接種についての詳しい内容は、別紙「同時接種No.03」を参考にしてください。

1歳になるまでに接種するワクチンは？

生後2か月のワクチンデビュー後は、毎月多くのワクチンを接種する必要があります。

表に生後1歳になるまでに日本小児科学会が推奨するワクチンについて示します。

● 生後2か月から1歳になるまでのワクチン接種の流れ

	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7～8か月	1歳になるまで
ヒブ No.10	1回目	2回目	3回目				スケジュール遅れのワクチン (キャッチアップ接種)
小児用肺炎球菌 No.11	1回目	2回目	3回目				
B型肝炎 No.12	1回目	2回目				3回目	
ロタウイルス No.13	1回目	2回目	3回目 (5価のみ)	(1価は生後24週、 5価は生後32週までに終了)			
四種混合 No.14		1回目	2回目	3回目			
BCG No.15				1回目			

👶 生後2か月からのワクチンデビュー のためにはいつから準備を始めれば いいのでしょうか？

生後2か月からワクチン接種が始まるので、その前に小児科に予防接種の予約を入れておく必要があります。ではその時期とはいつごろでしょうか？

① 妊娠中からの準備 -----

最近では出産した後、退院するまでの期間が4～7日程度と短いため、お母さんも非常に忙しく、出産後に予防接種のことについて聞いてもらう十分な時間が取れません。まずは妊娠中、特に妊娠後半の妊婦健診の時に、予防接種の情報を聞いておくことが大切です。したがって、第1の準備時期は妊婦健診の時ということになります。

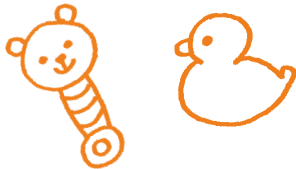


② 出産直後の時期の準備 -----

短い期間とはいえ「出産後から退院までの入院期間」をどう利用したらよいのでしょうか？

お母さんにとっても、お家の方にとっても大変慌ただしいこの時期は、子どもの予防接種に関する分かりやすいリーフレットなどの資料をもらっておくと、後で慌てることが少なくなると思います。特に、退院してからの赤ちゃんに必要な予防接種スケジュールをある程度イメージできるとよいでしょう。

第2の準備時期は出産後から退院までの期間 ということになります。



③ 2週間健診・1か月健診時の準備 -----



最近ではお母さんの育児不安を早く見つけるために生後2週間での健診を行う産婦人科が増えてきています。また、ほぼ全てのお子さんはお母さんの産後の健診と合わせて1か月健診を一緒に受けてい

ると思います。この健診にあわせて、予防接種に関する情報や具体的な接種スケジュールを確認したり、2か月から始めるワクチン外来の予約を計画する必要があります。

任意接種のワクチンであるロタウイルスワクチンについては、2回接種の1価ワクチンと3回接種の5価ワクチンの2種類があることを理解しましょう。どちらを選ぶかはかかりつけ医にご相談ください。ロタウイルスワクチンについては、別紙「ロタウイルスワクチンNo.13」を参照してください。第3の準備時期は生後1か月までの乳児健診時 です。

④ 3～4か月健診 -----

2か月から始めたワクチンも3か月～4か月になると同時に接種するワクチンの種類が違ってきます。この時期の健診の時に、お子さんのワクチンの接種の進み具合を確認をしてもらったり、健診の機会を利用して接種をしてもらうことも考えましょう。また、これに合わせて、次のワクチン外来の予約を忘れないでください。

⑤ 6～7か月健診、10か月健診 -----

5か月の接種が終わると、ワクチン接種はひと段落です。この時期には、B型肝炎ワクチンの3回目の接種があります。また、日本脳炎ワクチンは通常3歳からの接種ですが、住んでいる地域が流行地域である場合や流行地域に転居の予定などがある場合は、この時期に接種を始めましょう。



さらに病気などによって、時にスケジュールに沿ったワクチン接種に遅れが出てしまうこともあると思います。健診の時に母子健康手帳などで接種を必ず確認し、この余裕のある時期に、接種の遅れを取り戻しておきましょう（キャッチアップ接種）。

そして間近にせまった1歳の誕生日を前に、この時期に、1歳からの接種スケジュール（No.07）をしっかり立てておくといよいでしょう。

